

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公開番号】特開2018-68407(P2018-68407A)

【公開日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2018-017

【出願番号】特願2016-208509(P2016-208509)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月5日(2020.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、

前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、  
遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

演出を制御する演出制御手段と、

第1表示結果と第2表示結果とを含む複数種類の表示結果のうちから導出を許容する表示結果を決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて、表示結果を導出する制御を行う導出制御手段とを備え、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が第1決定結果であるときにおいて、前記第1決定結果に対応する手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記第1表示結果を導出する一方、前記第1決定結果に対応する手順と異なる手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記第1表示結果よりも有利度合いが低い表示結果を導出し、

前記事前決定手段の決定結果が第2決定結果であるときにおいて、前記第2決定結果に対応する手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記第2表示結果を導出する一方、前記第2決定結果に対応する手順と異なる手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記第2表示結果よりも有利度合いが低い表示結果を導出し、

前記第1決定結果に対応する手順と前記第2決定結果に対応する手順とは、同じ特定手順を含み、

前記遊技制御手段は、前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報を報知可能な第1報知手段を含み、

前記演出制御手段は、前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報を報知可能な第2報知手段を含み、

前記第1報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記第1決定結果および前記第2決定結果のいずれであっても、前記特定手順を特定可能な情報を共通の態様で報知可能であり、

前記第2報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記第1決定結果および前記第2決定結果のいずれであっても、前記特定手順を特定可能な情報を共通の態様で報知可能であり、

前記第1報知手段と前記第2報知手段とで前記特定手順を特定可能な情報の報知を開始するタイミングが異なり、

前記遊技制御手段は、前記可変表示部の変動表示が開始した後、有効化条件が成立するまで前記導出操作手段の操作を有効化せずに有効化条件が成立したときに前記導出操作手段の操作を有効化する導出操作有効化手段を含み、

前記導出操作有効化手段は、前記導出操作手段の操作が有効化された状態で電力供給が停止された後、電力供給が再開されたときに、電力供給の再開後に改めて有効化条件が成立するまで前記導出操作手段の操作を有効化せず、

前記第1報知手段は、前記導出操作手段の操作が有効化された状態、かつ前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報の報知を行っている状態で電力供給が停止された後、電力供給が再開されたときに、前記導出操作手段の操作が有効化されるよりも早いタイミングで前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報の報知を再開する、スロットマシン。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0008】

(1) 各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、前記可変表示部を変動表示した後、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシン(たとえば、スロットマシン1)において、

遊技の進行を制御する遊技制御手段(たとえば、メイン制御部41)と、演出を制御する演出制御手段と、

第1表示結果と第2表示結果とを含む複数種類の表示結果のうちから導出を許容する表示結果を決定する事前決定手段(たとえば、内部抽選処理)と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段(たとえば、ストップスイッチ8L~8R)と、

前記事前決定手段の決定結果および前記導出操作手段の操作に応じて、表示結果を導出する制御を行う導出制御手段(たとえば、リール回転処理)とを備え、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が第1決定結果(たとえば、左ベル1など)であるときにおいて、前記第1決定結果に対応する手順(たとえば、左第1停止)で前記導出操作手段が操作されたときには前記第1表示結果(たとえば、右下がりベル)を導出する一方、前記第1決定結果に対応する手順と異なる手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記第1表示結果よりも有利度合いが低い表示結果(たとえば、上段ベル)を導出し、

前記事前決定手段の決定結果が第2決定結果(たとえば、リプレイG R 1など)であるときにおいて、前記第2決定結果に対応する手順(たとえば、左第1停止)で前記導出操作手段が操作されたときには前記第2表示結果(たとえば、昇格リプレイ1)を導出する一方、前記第2決定結果に対応する手順と異なる手順で前記導出操作手段が操作されたときには前記第2表示結果よりも有利度合いが低い表示結果(たとえば、通常リプレイ)を導出し、

前記第1決定結果に対応する手順と前記第2決定結果に対応する手順とは、同じ特定手順を含み、

前記遊技制御手段は、前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報を報知可能な第1報知手段を含み、

前記演出制御手段は、前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報を報知可能な第2

報知手段を含み、

前記第1報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記第1決定結果および前記第2決定結果のいずれであっても、前記特定手順を特定可能な情報を共通の態様で報知可能であり（たとえば、図16の遊技補助表示器の表示例参照）、

前記第2報知手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記第1決定結果および前記第2決定結果のいずれであっても、前記特定手順を特定可能な情報を共通の態様で報知可能であり、

前記第1報知手段と前記第2報知手段とで前記特定手順を特定可能な情報の報知を開始するタイミングが異なり、

前記遊技制御手段は、前記可変表示部の変動表示が開始した後、有効化条件が成立するまで前記導出操作手段の操作を有効化せずに有効化条件が成立したときに前記導出操作手段の操作を有効化する導出操作有効化手段を含み、

前記導出操作有効化手段は、前記導出操作手段の操作が有効化された状態で電力供給が停止された後、電力供給が再開されたときに、電力供給の再開後に改めて有効化条件が成立するまで前記導出操作手段の操作を有効化せず、

前記第1報知手段は、前記導出操作手段の操作が有効化された状態、かつ前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報の報知を行っている状態で電力供給が停止された後、電力供給が再開されたときに、前記導出操作手段の操作が有効化されるよりも早いタイミングで前記導出制御手段の操作態様を特定可能な情報の報知を再開する。